

## 2 がん医療の充実、 3 患者支援の充実

資料1

- 2 (2) 小児・AYA世代のがん・高齢者のがん・希少がん 計画P 51-52
- 3 (3) 就労支援等のがんサバイバーシップ支援 計画P 57-58

### 《第3期大阪府がん対策推進計画におけるモニタリング指標》

	モニタリング指標	計画策定時の状況 【平成17（2005）年～ 平成21（2009）年】	【平成22（2010）年～ 平成26（2014）年】
1	小児（0歳～14歳）における 5年実測生存率 【大阪府がん登録】	81.9%	81.0%
2	AYA世代（15歳～29歳）における 5年実測生存率 【大阪府がん登録】	78.7%	82.9%
3	AYA世代（30歳～39歳）における 5年実測生存率 【大阪府がん登録】	77.7%	82.5%

現状・課題

- ◆小児・AYA世代のがんについては、それぞれの特性に応じた対策が必要。
- ◆小児・AYA世代のがんは、幅広いライフステージに応じた多様なニーズに沿った支援が求められている。

本年度評価  
概ね予定  
どおり

本年度の  
取組

《小児・AYA世代のがん》

- 府小児がん拠点病院の指定要件の改正、指定更新（2病院）

《小児・AYA世代への支援》

- 小児・AYA世代の就労支援について、労働関係機関と連携した出張相談等を実施。
- 府教育庁において府立高校に在籍する長期入院中の生徒への学業支援を実施。また、がん対策基金を活用し、入院中の小児・AYA世代のがん患者への学習活動支援や通信機器の活用による外部とのコミュニケーションを図るための環境整備費等に対し助成（7病院）。

《新たな課題（生殖機能の温存等）への対応》

- 小児がん患者を対象とした重粒子線治療の助成制度を運用。
- 将来子どもを産み育てることを望む小児、思春期及び若年のがん患者等に対して、妊よう性温存治療及び温存後生殖補助医療に要する費用の一部を助成。
  - ・妊よう性温存治療費助成 令和5年度 69件
  - ・温存後生殖補助医療費助成 令和5年度 19件 ※令和5年12月末時点
- 大阪府がん患者等妊よう性温存治療費等助成事業に関するチラシをの改訂版を作成し、各医療機関へ周知を行った。

今後の  
取組予定

《課題》

- 第3期計画の個別取組みは、全体的には概ね順調に実施できているものの、一部未着手となっているものがあるため関係機関と連携した対応が必要。

《次年度の取組》

- 小児がん治療経験者長期フォローアップ支援事業の実施（2月府議会に予算案提案中）

最終予算  
(案)

重粒子線がん治療患者支援事業（3,258千円）、小児・AYA世代のがん患者支援事業（1,500千円）、大阪府がん患者等妊孕性温存治療費等助成事業（46,259千円）等

# 4 がん対策を社会全体で進める環境づくり

- (1) 社会全体での機運づくり 計画 P 59
- (2) 大阪府がん対策基金 計画 P 59
- (3) がん患者会等との連携推進 計画 P 60

## 《第3期大阪府がん対策推進計画におけるモニタリング指標》

	モニタリング指標	計画策定時の状況	現在の状況
1	がん対策基金による企画提案型 公募事業累積採択延べ件数 【大阪府調べ】	平成25 (2013) 年度：4件 平成26 (2014) 年度：7件 平成27 (2015) 年度：10件 平成28 (2016) 年度：12件 平成29 (2017) 年度：12件 延べ45件	平成30 (2018) 年度：11件 令和元 (2019) 年度：6件 令和2 (2020) 年度：※0件 <small>※コロナの影響により事業中止</small> 令和3 (2021) 年度：2件 令和4 (2022) 年度：3件 延べ67件
2	がん検診受診推進員認定数 【大阪府調べ】	3,978人 【平成29 (2017) 年3月】	9,241人 【令和5年 (2023) 3月】
3	患者会、患者支援団体及び患者 サロンの数 【大阪府調べ】	患者会及び患者支援団体：36団体 患者サロン：58病院 【平成29 (2017) 年7月】	患者会及び患者支援団体：36団体 【令和4 (2022) 年7月】 患者サロン：55病院 【令和4 (2022) 年7月】

<p>現状・課題</p>	<p>◆がん対策を社会全体で推進するためには、医療関係団体や医療保険者、患者会及び患者支援団体、企業、マスメディアなど、社会全体で、がん患者や家族への理解を深める普及啓発や支援体制の構築が必要。</p> <p>◆大阪府がん対策基金の効果的な活用や、がん患者団体等との連携を図る必要がある。</p>
<p>本年度の取組</p>	<p>《社会全体でがん対策を進める機運醸成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■がん診療連携協議会や医療関係団体、企業等と連携したオンラインセミナー等による府民への啓発を実施。</li> <li>■連携企業におけるがん検診受診推進員の養成及び推進員による啓発を実施。</li> </ul> <p>《大阪府がん対策基金》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和5年度寄附額11,057千円（R5.12末時点）寄附総額94,574千円（H24～R5.12末）</li> <li>■寄附金を活用し、がん検診の普及啓発資材の作成、小児・AYA世代のがん患者支援事業や企画提案型公募事業等を実施。</li> </ul> <p>《がん患者会等との連携推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■患者会や患者サロンの情報について、地域の療養情報冊子及び別冊、ホームページを改訂し、府内の拠点病院等へ配布。</li> </ul>
<p>今後の取組予定</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■社会全体でがん対策を進めていく更なる機運醸成</li> <li>■がん患者・家族を支援するための体制構築</li> </ul> <p>《次年度の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■がん診療連携協議会や関係団体等と連携して啓発等を実施するとともに、がん検診受診推進員の養成に努めるなどにより社会全体の機運醸成を図る。</li> <li>■がん対策基金の寄附の拡大に努めるとともに、寄附等を活用して患者団体等の活動を支援。</li> <li>■大阪がん患者団体協議会及び関係者との継続的な意見交換を行い、がん対策の推進に努める。</li> <li>■地域統括相談支援センターを新たに設置し、大阪がん患者団体協議会等と連携しながら、ピア・サポーターの養成及び活用を推進する。</li> </ul>
<p>最終予算（案）</p>	<p>がん検診普及事業（1,504千円）、緩和医療についての正しい知識の普及事業（3,811千円）等</p>

本年度評価  
概ね予定  
どおり